

【建設局における自律改革】令和元年度の取組

No	事項名	自律改革取組前の状況	具体的な取組内容	取組の成果 今後の方向性	取組状況 (令和2年3月31日時点)
1	建設局改革推進本部の設置	所属、業務毎に業務改善等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○建設局行政の課題についての調査・整理等 ○都民ファーストの実現に向けた改革を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○建設局における改革の推進と情報共有を実施 ○引き続き、建設局における自律改革を推進 	実施中
2	100年後を見据えた「効率的なインフラの管理」	橋梁、トンネル、調節池、分水路等以外のインフラに予防保全型管理を導入するためには状況把握が必要	各インフラで優先順位をつけ予防保全型管理を導入	<ul style="list-style-type: none"> ○優先順位をつけ、導入可能な施設から予防保全型管理へ移行 ○これまで実施してきた点検結果などを基に整理、分析を行い、導入すべき施設として擁壁・堀割道路などを選定し、令和2年度に計画策定 ○堤防・護岸への導入にむけ検討及び調整中 	一部実施中
3	ICT技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○平常時の人の立ち入りが困難な斜面や異常気象時の二次災害の恐れがある斜面での、安全で精度の高い点検・調査手法が必要 ○土砂災害時には、現地に作業員を派遣し、目視にて現地を確認することで、状況を把握 ○生産性向上に向けICT建設機械の活用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○維持管理業務、災害対応におけるドローンの活用 ○建設現場におけるICT建設機械の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○実証実験の結果を踏まえ、山岳道路斜面点検におけるドローンの本格実施に向けた計画を策定予定 	実施中

【建設局における自律改革】令和元年度の実施

No	事項名	自律改革実施前の状況	具体的な実施内容	実施の成果 今後の方向性	実施状況 (令和2年3月31日時点)
4	インフラにおけるネーミングライツの導入	局所管施設においてネーミングライツは未導入	ネーミングライツ導入の可能性等を検討し、財源の確保を図る。	○ネーミングライツ導入可能性及び、課題を検証し、事業スキームの構築を検討 ○都立公園のトイレにネーミングライツを導入するため、主要なトイレメーカーや維持管理会社等に参入希望の調査を実施したが、参入希望がなかった。	検討中
5	効率的な会議運営及びペーパーレス化の推進	○更なる会議の効率化が必要 ○会議資料の多くが紙媒体を使用しており、会議資料の準備に時間を要し、紙使用量も増加	○建設局ペーパーレスワーキンググループを設置 ○会議実施状況等の調査を実施	○局目標の達成に向けペーパーレスの実施を引き続き推進 ○局幹部室に大型ディスプレイを設置しペーパーレス会議を実施	実施中
6	施設サービス品質の向上に向けた実施	○施設サービス魅力向上プロジェクトにおいて、都立公園19施設を対象に点検を実施 ○実施結果について、その他の局所管都民利用施設にも展開する必要がある。	○施設サービス魅力向上プロジェクト対象外施設において、施設サービスチェックリストを用いて点検を実施し、各施設の施設サービスの現状を把握する。 ○各施設の特性に応じた対応方針の検討	○窓口業務を行う職員・監督者に対して、聞き取り調査を実施 ○全職員対象に接遇ミニ講座メールを送信	実施中